

平成25年度第6回 新たな市政運営の総合的な指針に係る庁内策定検討
委員会専門部会

日時 2013年6月25日(火)

午前9時

場所 職員会館ミーティングルーム

日 程

1 開会

2 議題

- (1) 第5回専門部会の開催結果について(資料1)
- (2) 市民ワークショップ・庁内周知の進め方について(資料2)
- (3) 指針の名称について(資料3)
- (4) その他

3 閉会

(事務局 企画政策課 内線2171)

平成 25 年度第 5 回新たな市政運営の総合的な指針策定検討委員会専門部
会議事概要

1 日時 2013 年 6 月 19 日（水）午前 9 時～正午

2 場所 職員会館ミーティングルーム

3 議題

(1) 第 4 回専門部会の開催結果について

資料のとおり説明した。

(2) 第 4 回検討委員会の開催結果について

資料のとおり説明した。

(3) 指針（一次案）について

- ・ 「郷土愛あふれる藤沢～湘南の文化・産業・生活理想都市～」は、「理想」が追加されている。いつから提案されたものか。
 - ☆ 第 4 回検討委員会において、第 4 回専門部会以降の委員の提案をもとに事務局から提案したもののひとつである。
- ・ 地域まちづくり計画はどのようになる想定か。
 - ☆ 基本的な地域課題やまちづくりのテーマについて位置づけるような想定となっている。
- ・ 地域での事業の取扱はこれまでどおりなのか。
 - ☆ 地域でこれから事業の検証，選択を行っていく予定である。施策の位置づけについては，分野別の重点課題としてどのように位置づけられていくかによるものと考えている。

(4) 重点課題調査について

- ・ 市民サービスの影響は取り組みの成果に含める。課題内容のところだと，何もしなかったときの影響なのか，何かを取り組むことによる影響なのかが分かりづらい。
- ・ 緊急性を明確にする。「今，なぜ」やらなければならないのかを明らかにする。いつまでに着手しなければならないのかを記入し，重点課題の選定の際の拠り所にする必要がある。
- ・ 課題については，課題の背景・現状（となっている。状況である。）・ポイ

ント（必要がある。懸念される。）が必要である。

- ・ 重点化する理由は課題内容とは別にし、重要性・緊急性から「しなければならない。」点を記入する。相対的な重点理由を書かないことが重要である。
- ・ 取り組みの成果は、市民サービスへの影響を踏まえての3年間の取り組みの成果と長期的な効果を記入する。
- ・ 個別計画との関係については、予算編成方針示達後の重点事業調査の段階で行う。
- ・ 総務主管者会議で後追い説明して、課題の質を合わせる。
- ・ 一覧表が必要ではないか。
 - ◇ 部門で何個という考え方をなくしたいこと、部門横断的に課題をまとめて分野別の課題としたいことから、一覧表は作成しない。
- ・ 想定される重点事業との関係はあくまでも参考として扱う。すべての事業を想定するタイミングではないし、この段階で事業認定されたと思われてしまう可能性がある。
- ・ 4月の政策課題説明との差を明確にしておかないとダブっていると思われる。
 - ◇ 所属長説明会と総務主管者会議において説明する。政策課題説明はレベルあわせをしたり、深掘りをしたり、庁内での横断的な課題集約をしたりする目的ではなく、結果的にも事業実施上の問題点や考え方の確認、進捗報告を目的としているため重複はしていない。

(5) 市民ワークショップの進め方について

- ・ 医師会，商工会議所は別段にしたほうが良い。専門性や要望との関係もある。
- ・ ワークショップのなかでどのように対応するのか。
 - ◇ 職員と対峙するというスタンスでは行わない。
- ・ 告知の段階で職員への質問，意見の場ではないことを明確にしてほしい。
- ・ 資料はどのようなものを想定しているのか。
- ・ 郷土づくり推進会議資料，全協資料，分野別課題，重点施策の時点案を想定している。
- ・ 結果の反映についてはどのように想定しているのか。

◇ 指針の分野別課題，重点施策を確定し，８月７日に反映させる。事業意見については，パブコメを含め，各課に対応を調査し，戻すイメージで想定している。

- ・ 基本目標レベルで分けるのが良いと思う。基本８グループということ。
- ・ 専門部会からの声かけは，チラシ作成後にお願いしたい。
- ・ この件については，次回引き続き検討する。

市民ワークショップ・庁内周知の進め方について

1 市民ワークショップ

(1) 開催目的

分野別重点課題，重点施策，取組方針に関する意見交換

(2) 開催日程

ア 湘南台公民館

2013年7月27日（土）午後1時30分～4時

イ 明治公民館

2013年7月27日（土）午後6時30分～9時

ウ 鵜沼公民館

2013年7月28日（日）午前10時～午後0時30分

(3) 進め方

ア これまでの経過説明

イ 意見提案ワークショップ

(ア) 市民の提案説明からスタートし，意見交換を行う。

(イ) 分野別に職員との意見交換を行う。

ウ 役割分担

2 庁内周知

(1) 現在の実施状況（予定）

ア 部内会議，課内会議での説明

イ 庁内パブリックコメントの実施（4月30日～5月15日）

ウ 所属長説明会の実施（6月21日，24日）

エ ニュースレターの作成（2回）

(2) 新たな庁内周知手法

ア 若手向け意見交換会

イ 政策課題研究

指針の名称について（専門部会委員提案）

市政運営中期計画 2014（正式名称）

（理由）

民間でも長期計画よりも3～4年の中期計画を確実に実行しているのがトレンドらしいので、分かりやすい名称にしました。面白みがないので通称があった方が良いと思います。

第一次藤沢市市政推進計画（正式名称） ふじさわ市政ナビ（通称）

（理由）

重点化計画として事業までを位置づけるという点で「指針」ではなく「計画」とすること、「総合的」という手法ではなく、「市政」を「推進」するためのものであること、継続的な仕組みとして改定ごとに版を上げるという意味で「第一次」とすることからこの正式名称としました。通称については、市政を導くという意味を込めて「市政ナビ」としました。

藤沢市市政推進計画

（理由）

タイトルが市長交代時も基本的に変わらないという前提であれば、「〇〇ナビ」といった通称的なタイトルでない方がよいと思います。

藤沢市まちづくり基本計画（正式名称）

（理由）

ここ数年、新たな～、みんなの～等、長い名前の「簡易風名称」と通称がはやりましたが、あえて従来ながらのシンプル路線でも良いのではないのでしょうか？国の前政権がよく用いたこのような名称にみんなあきている？のではないのでしょうか？今後総合計画代わりに使用するのであれば、単純なほうが良いと思いますし、副題がわりにキャッチコピーを4年ごとに、市長の個性を反映して変えていけば良いと思いました。

ふじさわ市政優先施策2014-2016

(理由)

名前をみて、何が書かれているかがイメージできるようにするため、特に横文字等を用いないようにしました。「藤沢市政」の「2014」から「2016」年までの「優先」的に進めていく「施策」。「ふじさわ」としたのは、少しでも柔らかいイメージを持ってもらうためです。

最適な生活空間をめざして(正式名称) 藤沢市航海予定表(通称)

(理由)

将来像に向けて進めるための帆船(藤沢市)をイメージし、メインセール(第一の帆)、ジブセール(第二の帆)それぞれに重要となるテーマを位置づけ、最終目的地(将来像)に向けて船を進めていくイメージしています。

第一次藤沢市市政推進実行計画〈新たな市政運営の基本方針〉「ふじさわアクションプラン2016」

(理由)

計画が“絵に描いた餅”にならないよう、アクション(行動)という名称を使用しました。将来像の実現に向け、計画期間内における確実な行動(事業着手)に努めることを目的(目標)としたプランとします。

湘南ふじさわ重点政策2015

(理由)

「〇〇計画」では、市民には総合計画から何が変わったのかが分かりにくいため、名称から内容が伝わりやすいもので、かつシンプルなものとしました。

ふじさわ市政cruise

(理由)

船に例えた鈴木市長が発言した言葉が頭に残っていて、cruiseを使ってみました。cruise=巡航=経済速度で走行する、3年~4年ごとに港による=その時々
の経済等に合う方向を見直す…なんていかがですか？

ふじさわ市政基本構想（２０１４－２０１６）

第一次藤沢市基本計画（正式名称） ふじさわ未来プラン２０１６（通称）

ふじさわ未来予想図

ふじさわの設計図

ふじさわの進む道

ふじさわ未来構想

ふじさわ市政戦略

ふじさわ市政大鑑